

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【FX 電子書籍 7 冊目】 ついにライブトレードへ**

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/rep/part7.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**どうもゆうです！**

**さてさて、昨日ですが以下の**

**神レベルトレーダーの検証動画を公開しました！**

**相当勉強になるので是非ご覧くださいね～**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**NEW！【検証動画】神レベルトレーダーの  
FXリアルトレード解説を公開！**

**※ストップをちゃんと入れて**

**「日利で」40%の利益を出す神レベルトレーダーの解説動画がすごい**

**⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/06ff/mo/>**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**それで今日はいよいよ電子書籍の7冊目**

**「ライブトレードへ」の章になります！**

**こちら今までシステムトレードを作ったり検証したり**

デモトレードしたり、の流れで

いよいよライブトレードへ、という形になりますので

その際の注意事項など色々書いてますので

ぜひご覧くださいね～

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【FX 電子書籍 7 冊目】 ついにライブトレードへ**

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/rep/part7.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

またその他のコンテンツは以下になりますね～



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【FX 電子書籍 6 冊目】 いよいよデモトレード！**

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/rep/part6.pdf>

**【FX 電子書籍 5 冊目】 システムを検証で調べる！**

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/rep/part5.pdf>

**【FX 電子書籍 4 冊目】 「あなたのシステムトレードを作る」**

<http://www.chart-ma.com/url/yuu/rep/part4.pdf>

**【FX 電子書籍 3 冊目】 「相場で儲ける人儲けない人の違い」**

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/rep/part3.pdf>

**【FX 電子書籍 2 冊目】 「自分の生活環境を考える」**

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/rep/part2.pdf>

**【FX 電子書籍 1 冊目】 一流トレーダーへの道を進む為に**

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/rep/part1.pdf>



【圧縮ファイルまとめ版】

「欧米の投資教育機関で教えられる基礎」を

電子書籍8冊で学べます！（圧縮ファイルです）

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/05p1/p/>

（8冊分のZIPファイルですが相当内容が濃いので是非  
学んでみましょう！）



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【以下はその前にお渡しした神レベルトレーダーからの  
プレゼント】

【神レベルトレーダー根崎さんとの  
対談音声2本目を公開！】

⇒ <http://chart-ma.com/td/yuu/2nd.html>

**【対談音声 1 本目】**

⇒ <http://chart-ma.com/td/yuu/>

**NEW！【「プライスアクションの解説動画」を公開します！】**

**【解説動画】プライスアクションフォーメーション**

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/03pb/mm/>

**■フリスタFXの秘密（電子書籍PDF）**

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/02fx/p/>

※上記ファイルが開けない場合は、

下記URLもお試し下さい。

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/02fx/z/>

【神レベルトレーダー根崎さんから

新しいレポート PDF「なまけ者が自由を掴む行動論」  
が届きました！】（必見）

■ なまけ者が自由を掴む行動論

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/01na/p/>

※上記ファイルが開けない場合は、  
下記URLもお試し下さい。

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/01na/z/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆





=====

## 【ファーストステップFX】

### Part 1 第7章ライブトレードへ向かう

#### 目次

第7章：（1）——ライブトレードで初めに考える事——

第7章：（2）——デモとライブの簡単な違い——

第7章：（3）——ライブトレードが心理面に与える影響——

1. ロスカットが出来なくなる

2. 負けが込むとトレード回数が増える

3. トレードが苦痛になり、恐怖になる

4. システムを疑ってしまう

第7章：（4）——ライブトレードでは多くの妨害に遭う！？——

1. デモとライブで値動きが違う？

2. ライブだとスリッページが発生して来る！？

3. 儲け過ぎると口座が潰される！？

4. ディーリングルームによる、レートの操作が行なわれている！？

5. FX会社はトレーダーの注文状況を見れる！？

まとめ

=====

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【FX 電子書籍 7 冊目】 ついにライブトレードへ**

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/rep/part7.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

さて、それで今回も大変重要なことばかり書いてますが

まずは

「デモとライブの簡単な違い」

を知っておくのが大事です。

ちなみに根崎さんの日利40%の動画も見てもらいましたが

実は根崎さんも相当デモでやっていたときがあって

そこでリアルで心理面の調整をして

ああやってすごいトレードができるようになっている

わけですね。

それでデモとライブの違いで言いますと

・デモ口座

架空の金なので、別に負けても問題ないと考えられる

勝っても負けても練習なので結果にこだわらなくなる

練習やシステムのテストのために行ってるので

ルールを破らない

・リアルなライブ口座

本物のお金なので資金が減ったら一大事

とにかく損失を出すのが嫌だ怖い、とってしまう

練習とは違い、落ち着きがなく、ハラハラした状態で、

本当ならエントリーしないところでエントリーしたり

エントリー後に含み益のときに

「含み損になるのが怖い」という何の根拠もない

理由で利益確定してしまっ、結果的にトータルで損しちゃう

以上がデモとリアルの違いということで

説明されていますね。

それでなんとなく見て分かると思いますが、

そうです、

傾向として

「デモトレードでは心理面はあまり左右されないが

リアルトレードでは心理面で大きく左右される」

という傾向があるのですが

これは「デモ口座なら勝てるのに

ライブ口座だとなぜか勝てない」

っていう人たちってのは心理面の原因があるからなんですね。

それでここで「心理面でどのような影響が生じるか」

を知るのが大変大事でして、

まずひとつとして

1 ロスカットができなくなる

ってのがあります。

ちなみにここで引用されてる言葉があつて

マーケットの魔術師、アメリカのトップトレーダーの

シュワルツの言葉が引用されてるけど



「ミスを認めるよりも、損をするほうを選ぶからだ。

損したポジションを持っているトレーダーの極めつけの

正当化は何だと思う？

『トントンになったら手仕舞うよ』だ。トントンで手仕舞う事が

どれほど重要だというんだ。自尊心を満足させられるからだろう。

私が勝てるトレーダーになれたのは、

『自尊心などクソくらえ。金儲けの方がもっと大事だ』

と言えるようになったからだ」

という大変大事な言葉が引用されてます。

それで「デモではちゃんとしていたのに  
リアルでは最初 ルールやぶりしてしまう事例」

として一番多いのが

「ストップ注文入れない」

ですよね。

一番べたなルール破りの事例ですが、

ストップ注文をしないってことは

何の保険にも入っていない車で

危険な道を走りまわることと同じですよ。

それで書かれていることが

やはりトレーディングする限り、リスクからは

逃げられないので、

そのリスクがあつてのリターンであるので

リスクとの付き合い方でリターンを調整する

ことができますのでリスクとの付き合いが重要だと。

しかし・・・

「頭では分かってるのに、ストップ注文を取り消してしまう」

ってというのがこれ多くのトレーダーの傾向なのですが

これはなぜでしょう??

そう、それは

**「負けを認めたくない」**

**という人間の心理傾向にあります。**

ちなみにこんな経験多くの方がしております。

あるとき、買いポジションを持っていたけども

ところが相場は自分の思惑とは裏腹に

どんどん下落。

そして当時はストップの意味が分かっていなく

どんどん含み損が拡大。

そしてポジションを持つてる自分としては

目に見えて損が膨らんでしまうから

ハラハラドキドキ。

ところがそんなとき、あるときに突然相場が

反転して

含み損が利益になってしまいました。

それでポジションを持ち続けたらプラスに転じてしまったもの

だから、

これに喜んでしまうわけですね。

このストップを置かないで、それでプラスになってしまったこと、

しまった、と書きますが、ここで

トレードプランを狂わせる大きな甘い経験、餌に

なってしまうわけですね。

こんな行動が一度習性づいてしまうと、

直すのはかなり時間がかかりますが、

こうなると人はストップをはずす、ストップをさらに

拡大する傾向に動かしてしまう ということが

起こります。

しかし、ここで問題がありますよね。

相場はいつも思い通りに動くだろうか？

確かに相場は戻ってくる場合もありますが、

それ以上に戻らずに行った切りになることも

大変よくあります。

ストップを置いていなかったなのでそこで含み損は

どんどん膨らんでいくし、

最悪 国内証券の追証あるところだと

証拠金の限界を超えてしまうってことも

ありますよね。

そうなる と破産・・・

実は甘いわなである「ストップを置かない」

ってというのはこれでしばらく生き残れる場合もあったりするけど

長生きはできないわけですね。

短命で終わる。

それで破産したとき初めてその人は

ストップを置く意味を理解します。

ちなみにこれは「多くのFX教材、塾であるある」

なんだけど



私が今まで見てきたFX教材の中で

結構ちよくちよく見たものがあった

それが生徒さんのインタビュー動画とか

記事でして、

そんな中生徒さんで「勝ってる生徒さん」

つてのが出てくることがあります。

それでよく動画とかインタビュー記事を見ると

中にちよくちよく

月収100万円とか200万円達成したとはあるんだけど

「ストップは僕いれないんです」

とか言ってる人、いるんですね。

あとはたまたまナンピン買い、売りして勝ってる人、

とかです。

ちなみに大きな世界情勢で言うと

QE ジャブジャブマネーっていうのをアメリカ

日本、欧州が始めたあたりから

やはり官製相場、本当の意味での自由市場ではなくなってるので

ボラってのは以前ほどはなくなってるように

私は感じますが、

実はこの官製相場ではまだこの「ストップ入れない」

とか「ナンピンで持ちこたえて利益確定だけしてる人」

って生き残ってるんですね。

ただ、それは数年の話で

10年、20年単位だとこの官製相場がずっと

続くはずありませんから

彼らは「必然的に」破産するんです。

例えば損きり2%と決めたなら

「何が何でも」そこで絶対損きりしてるのは

FXの場合は絶対重要なんだけど

よく FX 教材の成功者インタビュー見てると

そういうストップ入れないでたまたま地合で生き残ってる人って

結構目にします。

が、これは危ないってことですね、

真似しちゃいけないと。

ちなみに根崎さんのCMAが何がすごいかって言うと

生徒で勝ってる人たちはみんな、当然ですが

ストップを入れてます。

当たり前ですが

ストップ入れて、ちゃんと勝ってるわけですね。

このストップ入れない取引は今はまだQEの時期ですから

生き残れる地合もあるでしょうが

長くは続かないからやはり

**「ストップを入れてその上で勝てる方法」**

**を探する必要があります。**

ちなみにですが、最近ではプロ裁量トレーダーに人気なのは

決済用の損失確定と利益確定を自動で行う

裁量トレーダー用 EA っていうのがあって、

これはたぶん多くの人が潜在的に

「ストップ入れると証券会社に見られてるようで

なんか嫌なんだよな」

という心理もあるかもしれませんが

それも解消されます。

自分の手を見せないで決済 EA 使えば

もうストップ入れない理由が消滅しますね。

それでまたライブトレードの心理面のことが

さらに書かれています

## 2 負けが込むとトレード回数が増える

ってということが書かれています。

トレードにはまず 100%や絶対はないわけで

どこかで根崎さんの解説動画見ても分かったと思いますが

必ず負けます。

神レベルトレーダーも日利40%とか時には

いく場合もありましたが

履歴みたら分かるようにちゃんと「負け」があるわけですね。

その「負け」を動画で公開してるのは

神レベルトレーダーでも負けることはあるのだ

ってことです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

NEW！【検証動画】神レベルトレーダーの

FXリアルトレード解説を公開！

※ストップをちゃんと入れて

「日利で」40%の利益を出す神レベルトレーダーの解説動画がすごい

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/06ff/mo/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ちなみに根崎さんのすごい素晴らしいところは

生徒さんに自分が負けた場面もちゃんと見せるんだけど

それは「うまく負けてる」ことをちゃんと見せて

勉強させてるわけですね。

「うまく勝つ方法」を教える人は数多くいるけど

「うまく負けてる方法」を教えられる人はほとんど

いませんが



根崎さんはそれを生徒に教えてる。

それで人間心理の中では負けてしまうと

いつか取り返してやると、躍起になることが

あるのだけど

そういう「感情」になるとあることがおきます。

まず「システムトレードができるはずなのに

そのシステムトレードをする」

ということができなくなってしまふわけですね。

「ルールは守れない、とにかく早くトレードをして

損失を取り返したい、という感情」

が生じてしまう傾向があります。

が、これ、ルールを破ることになりますから

当然最終的に儲かることはありません。

ただこの感情の情動の動きがきっかけとなって

今まで守っていたルールが信じられなくなる

という状態につながってしまって

悪いスパイラルに入ってしまうわけです。

ここでできることはまず冷静になることだ、

と書かれていますが

ここで「自分がどんな精神状態か、

客観的に自分を見られるようにならないといけない」

っていうことですよ。

なのでトレードの場合って

私=主観 が入るものですが

かくいう自分自身、の感情は

「客観視できる自分」がないといけない

っていうことです。

あなたは日々の自分の「感情の起伏」

を常に 「観察」 していますか??

ちなみに私は結構自分で観察する また別の自分を

脳内に持っています。

今の自分をさらに遠く見て

「今の感情はどういう感情か？」 って見てるまた

別の自分みたいなのをちゃんと持つようにしています。

これを客観視といいます。

だから その別の自分が

ガンダムのアムロみたいにガンダムを操縦してるんだけど

そのガンダムは時には感情が暴走して

とんでもないことするんだけど

それをアムロが監視してみていく

みたいな感じですよ。

ちなみにこれは実は仏教の考え方につながるんだけど

この客観、をもてるかどうか？はとても大事なんですね。

例えば ローソク足が急にぐんぐん動き出す

ボラティリティであるとか

これは人間の感情を刺激しがちですが

そこに気づけばダウ理論の波で見るとか

サポレジをあくまで見ているとか

視点を変えて感情をコントロールしたりできますが

こうやってリアルトレードでは

自分自身の動く感情を監視する第2の自分

客観つてのが大事になりますね。

ということで、今回の

7冊目のリアルトレードの部分では

かなり大事なことが多く書かれていますので

ぜひ学んでみてくださいね！！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【FX 電子書籍 7 冊目】 ついにライブトレードへ

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/rep/part7.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

それで・・・結構多くの方が

興味を持って読んだのがたぶん

第7章：（4）——ライブトレードでは多くの妨害に遭う！？——

ここではないかな??

と思います。

そう、デモとライブではここが圧倒的に、決定的に違うかな

なんて私は思います。

ちなみに私なんかは検証、デモの後

ライブ口座でテストしたりしますが、

結構このライブ口座の「妨害」って書かれてる部分は

かなり意識してるので

まず小さな通貨での検証、それこそ1000通貨でもいいですけど



そういう検証はよく未だに行います。

ちなみに例えば50万円でトレードする予定の人は

デモが終わったら、一応そのトレーディングルールが

機能するかは、

5万円なりを入れて、それこそ損きり2%1000円とかで

どれだけその月増えるのかテストしたほうがより確実ですね。

地道なようですが、やはり資金は大事なので

溶かさないようにそのように少額検証もかいてませんが

大事かとは思いますが。

それで

特にこのリアルトレードの電子書籍7冊目で

面白いというか 肝かもしれませんが

それが

【FX会社はトレーダーの注文状況を見れる！？】

っていう最後の項目ですよ。



電子書籍レビュー【FX会社はトレーダーの注文状況を見れる！？】



それでこれは電子書籍で詳しく書かれています

いわゆる

「ストップ狩り」という言葉について説明されてます。

どういふことかというふと、顧客が出してゐるストップロス＝ロスカット

を意図的に発生させて、

ポジションを強制的に解消させた上で本来の動きをさせる

っていう意味ですね。

んでここで神レベルトレーダーの記述を見てほしいけど

「この、意図的に発生させることがFX会社には

できてしまうのです」

っていうところが大事で、

これはFXの書籍などには載っていないけど

現実問題、すごく大事な、知っておかないといけない知識かな

なんて思います。

というのも、実は彼らは当然ですが

顧客の注文状況を把握することができるんですね。

つまり、どんな注文がどの価格帯に溜まっているか？

なんてのを見ることができるんですね。

それでもう神レベルトレーダーなんかは

数百万通貨とか打つので、当然見られてるってのが

自分で分かってる人なんだけど

それなので「(彼らは) レートを操作して、顧客のポジションを

強制解消させていただきます」

ってというのが書かれていますよね。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【FX 電子書籍 7 冊目】 ついにライブトレードへ

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/rep/part7.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

こんなのは昔は「そんなのは陰謀だ」なんていう人が

いましたが、

それは単なる作業員だったんだろう、なんて

思いますよね。

これは実は私は重要なエピソードを持ってるけど

それも後で書きます。

んで、例えば ある状況で買いポジションがたまっていれば

買いポジションをもたれてることに何か問題がある、

買いポジションを持ってる連中が儲かってもらっては困る

という何かがおそらくあるのでしょう、

ということも書かれています。

それで重要なのは

**「相場は需給関係で初めて動く」**

わけです。

そこでもし大量の買いポジションがあつて相場が

上昇していくのだとしたら、

買いポジションを相殺する形で売りポジションが減っていく

わけで

一定数の売りポジションが相殺されていってしまえば

そこで相場が止まるわけです。

すなわち需給関係の均衡が起こります。

この一連の流れの中で FX 会社が損を被るとしたら

どういう理由か？

ですが、単純に為替差損を出してしまうときか

儲けそこなったときか・・・ですが

ここまで来たら、ぼんやりと何故、

ストップを刈る必要があるのか見えてくるかもしれません、

という話も書かれています。

可能性の一つとして、彼らはまず自分たちの利益を確保しようと

しますが、顧客の大量ポジションが彼らにとって

不利になってしまう可能性がある、ってということですね。

もちろん、これだけが理由ではないですが

可能性の一つだ、と書かれています。

それでそこで、大事になるのが



**「みんなと同じ行動を取ること**

**=同じ位置にストップ入れること自体が**

**危険である」**

ということが分かるわけですね～～

もう一度書きます。

**「みんなと同じ行動を取ること**

**=同じ位置にストップ入れること自体が**

**危険である」**

わけです。

実は・・・そういうこともあって対策として

根崎さんはストップロスレートなんかは

末尾を色々変えるように都度教えていまして

実はこれ裏技みたいな感じだけど

そこで他の同じようなやり方の人たちは

ストップ刈られてるのに、

CMAの生徒さんはストップぎりぎり数 PIPS でかからないで

それでプラスに転じて利益確定・・・

みたいな場面が結構あるわけですね。

実は・・・ここがすごい重要です。

この辺の「実務」の部分は実は多くのFX塾でも教材でも

教えていません。

何故だと思えますか？

それは

「性善説」であるからだと思えます。

上に、ストップ狩りを陰謀だなんちゃらだっという人は

работникだ、みたいな話を書きましたが

まあみんな「ストップ狩りなんてないだろう、

だって僕の使ってる FX 会社は NDD だし、

とてもクリーンなイメージなもの」

って思ってるわけです。

まさに FX 会社は綺麗で、素晴らしい、

悪いことなどしない、という

「性善説」なわけです。

ただこれは世の中の厳しさを知らない

お子様ランチなんですが

世の中ってのはもっと厳しいものですね。

というのは、これは時々書くエピソードで詳しくは

これ以上書かないけど、

私の知ってる人で FX 会社を経営してる人がいます。

んで彼の友達もまた私の友達なんですけどもね、

まあその私の友達が彼の FX 会社に見学に行ったことがあった。

んでこれがまあ面白い光景だったそうで、

そのディーリングルームにはですね、

ちゃんとパソコンのディスプレイが設置されてるんだけど

そこで全顧客のストップ状況がちゃんと映るように

なってるわけです。

んでレートがそこに近くなってきたら、

まあ顧客の損 = 証券の儲けってのが本当のところなんで

ここで彼は「見ててね」とマウスのボタンを「ポチ」っと押す。

そのボタンで彼がローンチさせたのは

ある種の自動売買プログラムなんだけど

それが動き出すと、

一気にその顧客の そのターゲットされたストップが

「ズゴゴゴゴ」って刈り取られたらしいです。

それで「ほらこれで儲かった」と彼は言う。

・・・という、夢を見ました（笑）

信じるか信じないかはあなた次第、とか

テレビみたいなことを言います（笑）

まあだからこれが現実なんですね。

ちなみにこれは私は証券会社の幹部とか社長さんとか

対談音声とかを通じて色々話した過去もあって

まあ色々知ってるんだけど

**どうしても顧客の損は証券会社の利益になる構造を**

**保有してる 顧客と利益相反体制に事実上なってしまうてる**

そういう証券会社のほうが多いんですね。

ちなみにもっと内情を私は知ってるけど

当然証券で働いてる人も人間であるから

良心ってあるんです。

だから内部では「こんな顧客の損を自身の会社の

利益に変えてるってどうなんだ、おかしい」

と当然思う人も多いですし、

だから時々証券内部でその辺の利益を出す哲学部分での

衝突ってのがあったりします。

例えば以前あったのが某証券会社で

上記のストップ狩りなどを指示していた社長さんが

いたのだけど、



ただこの社長さんも株主の圧力はあったとはいえ

それはおかしいと思っていた。

ちなみに、もっと言うところの社長さんは帰るときに

儲かっている顧客がディーリングルームで何人かいるんだけど

それを口座 ID 示して「こいつらに向かってけ」

とか指示していたんですね。

「向かっていけ」ってのはすなわち刈っていけの意味

なんです。

ただやはりそれがおかしいとみんな、

その幹部たちも本当は思っていますから

あるとき本当の健全な手数料収入で証券会社がなんとか

回るように頑張ったりするんだけど

当然そこでは短期利益は顧客が損しないから減る。

んで結果、解任される、なんてことも実際は

FXの証券業界は起こってるんですね。

こういう大人の政治を知らないのは子供ちゃんとも

言えますよね。

ちなみに多くの人が「NDDだから大丈夫」とか思うけど、

それこそ、

NDD方式とはノン・ディーリング・デスク方式の略で、

ディーリング部門を置いていない会社の取引を指しますが

まあそれは NDD 方式のほうが顧客からしたらよいと思うわけですから

当然、各証券会社は NDD 方式ですよ、と宣伝したいに

決まっていますよね。

が、ディーリング部門おかないとこれ狩れない、

収益でない、となるわけで

じゃあどうするのか？っていうと

私が仮にどうしてもそこで利益出さないといけない

立場で割り切った場合、

たぶん自動プログラム作りますよね。

んでそこで自動でディーリング部門はないんだけど

同じくストップ狩りできるシステムを作れば

まあ NDD 方式と言いながら刈り取ることもできる

と考えると思う。

大人は世の中はこういう部分で回ってる恐ろしいことがある

っていうのを知らないといけないですね。

んで根崎さんはそういうのを当然知ってるから

上記のような

**「ストップは他の人と違うところに置く」**

ってのは教えてるわけですね。

ちなみに・・・私の知ってる

**「シグナル配信で相当強い**

**愛想の良いおっちゃん」**

がいました。

このおっちゃんはサラリーマンしてるんだけど

FXのシグナル配信を専門でお願いされてる人で

んでずーっと勝ち続けてて

サラリーマン投資家として神格化されてる人でしたね。

んで彼と飲む機会が昔ありましたが

私が言いました。

私もこのシグナル当時受けて検証していたので言ったのが

「プレッシャーがかかるシグナル配信で利益を

ずっと継続してるのはすごいですね。

普通、どんなにすごいトレーダーでもプレッシャーがかかると

だめになるケースを多く知ってますが

〇〇さんはそれでも負けないですもんね」

んで、彼は言いました。

「そうですか、ありがとうございます。

実はコツがあって、

それが「みんなと同じところで取引しない」

なんですよ。

ストップも指値も逆指値も・・・

ストップもみんなが置かないところにいつも置きます」

みたいな話でした。

そう、だから根崎さんと全く同じこと言ってるわけですね。

「みんなと同じところにストップ置かない、

さらに指値も逆指値も入れないでずらす」

ですけど

彼がすごい重視していたのはそこ、でした。

んで、その彼ですがシグナル配信では

すさまじい結果出していたけど

実はそこが「肝」なんだって話ですね。

だからそういう意味でこの電子書籍の後半の話は

とても大事。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【FX 電子書籍 7 冊目】 ついにライブトレードへ**

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/rep/part7.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



ちなみに、これも知らないといけないけど

今のFX証券会社の前身ってのは商品先物の会社たち、

であるわけです。

「海千山千（うみせんやません）」＝

世間の経験を積み、ものの裏面まで知りぬいて悪賢いこと。

そういう、したたか者。

という言葉がありますが

まさにその

海千山千（うみせんやません）の先物出身者が作ってるのが

実はFXっていう業界だったりするわけです。

ちなみに海千山千のこの先物の人たちのエピソードで

日本で読んだ「うしじま君」っていう漫画があつて

そこで株式ではめられてそれで大損した主婦の

エピソードがあつたけど

良かったら読んでみてください、

たぶん作者の方が丹念に取材されてる。

あれが海千山千の連中です。

それで「世間」とは何かと言いますと

FXの証券業界とかつてのはまさに先物出身の、

まさに私の親父なんかも昔それで大損してるけど

その海千山千の人らが作ってる業界だけど、

それを知らずに

「証券会社はまじめに顧客のストップを刈ることなんてない」

と多くの人が信じてる、それが「世間」なんですね。

すなわち お子様で世間は構成されている。

世の怖さが分かっていない。

逆に稼ぐ人ってのはこういう世の中の裏側とか

そういう恐ろしさを理解したうえでなんとか

現実見て稼いでいく人で、

根崎さんがそうですね。

本当は根崎さんも書きたいけど書けないことも

多いと思いますよね。

まあだから、世の中ってのは性善説で考える人が多いけど

それは間違いで

特にFXの場合は 顧客の注文見えるのを利用して

ストップ狩りとかするの当たり前くらいに

考えていたほうが良いですね。

ちなみによく考えるとおかしな話で

例えば トランプや UNO をするとき

みんな自分の「手」を必ず隠しますよね？

すなわちどんなカード持ってるとかどうこれから出るとか

みんな言わないし、ババ抜きしていて

「私はババを持っています」とか言う人はいないと

思います。

どんなゲームでも自分の手を見せないってのは

結構当たり前のことです。

ただこれ・・・不思議なことに

FXとかだと 自分の手である

ストップロスの場所、利益確定の場所、

全部見せるのが恒例になってるってのは私が不思議な

点です。

私が証券会社の間でもう良心捨てたら

「よし、ここにストップ溜まってるから

〇〇会社と〇〇会社に共有して

そんで刈ろう」とか考えるわけですね。

けど人々はみなすごい信頼してる、大会社を。

そして損してる。

ただ最近プロトレーダーでもその辺の対策として

もう決済関係は証券会社のストップとかリミットとか

信頼できないから、また自分の手のうちをさらしたくないから

ってことで

決済は手動でやるとか

あとは決済用の EA 導入してそれで決済の手のうち見せないで

決済するとか

そういう対策してるプロトレーダーも増えてます。

んで彼らはそれらの手動決済や EA での決済を変えようとしな

んだけど

すなわち証券会社のストップリミット機能を使うという

ところに戻りたがらないけど

なんでかっていうと明らかに彼らの主観ではあるけど

勝率が改善するからです。

データとしても証券会社が何もしていないなら

勝率改善するはずなのに、

手の内見せないようになると勝率がどうも改善したりする

ってのが彼らの実感でだからそういう

対策傾向が近年強いわけですね。

だからストップ入れるのは大事ですけど

ストップ場所もちょっとずらしたり、



また決済用 EA 使ってみたり、

そういうちょっとした工夫は大事かもしれませんね。

それで根崎さんが語っていますが

「みんなと同じ行動を取ること

=同じ位置にストップ入れること自体が

危険である」

ということであって

みんなと同じ=リスク

なんです。

これはだからビジネスの話でもよく書くけど

**みんなと同じ=悪**

になるわけですね。

なのでそこで

**「自分の投資行動がみんなと同じになっていないかな？」**

と常に客観視する自分が必要といえるでしょう。

根崎さんが電子書籍で引用されていたけど

投資の神様バフェットが言ってます。

**「誰がカモかわからなければ、  
そのゲームでは自分がカモ」**

**まさにこの言葉なんですけど**

**カモられないように、現実見て対策していくのが**

**大事って話ですね。**

**だから今回の電子書籍7冊目は読み方によっては**

**「濃い・・・」と思いますから**

**ぜひ見てそして考えてみてくださいね！！**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【FX 電子書籍 7 冊目】 ついにライブトレードへ**

⇒ <http://www.chart-ma.com/url/yuu/rep/part7.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆